

令和 7 年 8 月 1 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
那須町立小中学校 8 校	那須町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
東陽小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
学びの森小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
高久小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
田代友愛小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
那須高原小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
黒田原小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
那須中学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
那須中央中学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果及び、学校関係者結果の公表について
東陽小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
学びの森小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
高久小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
田代友愛小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
那須高原小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
黒田原小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
那須中学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
那須中央中学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

那須町が推進する幼保小中一貫教育の出発点として、以下の5つの教育課題が挙げられる。

- ア 多様な子ども達への理解と長期的な対応の必要性
- イ 価値観の多様化時代に即した教育施策・学校の再編
- ウ 地域住民の声に支えられる学校作りの検討
- エ 児童・生徒が地域や学校に誇りを持てる環境づくりの推進
- オ 地域における人と人のつながりを深める施策の体系化

これらの教育課題の解消のために、特別の教育課程を編成し、3つの内容（「人間関係プログラム」「防災教育プログラム」「プログラミング教育」）を実施している。

「人間関係プログラム」では、人間関係の構築や社会性の育成のための技能の習得を図りながら、社会人として求められる学力の基盤となる人間関係力を育成し、「防災教育プログラム」では、地域特性に応じた防災・減災教育をとおして、自分や周りの人の命・安全を守ろうとする態度を育成する。「プログラミング教育」では、AI時代における倫理的思考力の育成を図っていく。

これまで各教科や特別活動等で別々に扱ってきたこれらの内容を、「関わる力」というキーワードで結び付け教科化することにより、各教科、外国語活動、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等の強化・補完に繋がることを期待している。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

那須町幼保小中一貫教育では、「NAiSU タイム」を教育課程の中核に位置付け、今後の町の学校教育の柱としていく。

4. 課題の改善のための取組の方向性

NAiSU タイムの3つの活動内容が「なぜ重要なのか」「どんな力が育つのか」を、生徒の感想や写真・動画を交えて具体的に紹介するなど、「存在を知らせる広報」から「価値を伝える広報」へと転換を図っていく。

また、NAiSU タイムの活動に、多くの保護者が参加・視聴しやすいように工夫していくことで、学校と家庭の連携を強化する「仕掛け」となり、学校での学びが家庭での行動に繋がるように進めていきたい。